

沖縄科学技術大学院大学（OIST）の次期学長について
【内閣府特命担当大臣 談話】



平成28年12月15日

今般、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の次期学長に、マックス・プランク学術振興協会前会長のピーター・グルース博士に就任していただくことになりました。

グルース博士とは本日お会いしました。基礎研究を中心に世界トップレベルの研究を行うドイツのマックス・プランク学術振興協会において、2002年から2014年まで会長を長く務められるなど、研究機関におけるマネジメント経験が大変豊富で、また産学連携活動にも造詣が深い方です。まさにOISTの学長に相応しい人物だと思います。

新たにOISTを率いていただくグルース博士には、国内外の第一線の研究者や優秀な学生を引き付ける優れた研究環境づくりに御尽力いただくとともに、学園設立後10年の見直しの折り返しに当たって、世界最高水準の科学技術に関する教育研究の実現や財政基盤の強化に向けて、大いに手腕を発揮していただくことを期待しています。

OISTのもう一つの重要な目的は、沖縄の振興と自立的発展に貢献することです。沖縄の自然や産業など沖縄の特性を活かした研究や、産業のイノベーションにつながる産学連携を進めていただくとともに、地域との交流も深めていただき、ぜひ沖縄から世界に羽ばたくような人材育成に貢献していただきたいと思います。

さらに、グルース博士が日本の教育研究機関において指導をされることは、我が国の学術界にとっても、世界最高水準の経験や知見を共有していただける好機です。これを機に、国内の各大学や研究開発機関等とOIST間の交流がさらに進むことも期待しています。

内閣府としても、OISTの益々の発展に向けて、引き続き着実な支援を行ってまいりたいと思います。

内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、科学技術政策）

鶴保庸介